

4 婚姻

平成19年の婚姻件数は3,203組で前年の3,305組から102組減少した。婚姻率（人口千対）は4.4で前年の4.5を0.1下回った。

婚姻率の年次推移をみると、第1次婚姻ブームである昭和22、23年は高かったものの、以後急激に低下していった。その後わずかに増加に転じ昭和33年には、7.9まで回復する。また、戦後のベビーブームに生まれた子供が適齢期に達した昭和47年頃は上昇したが、その後は年々低下し、平成元年には過去最低の4.4を記録した。平成元年以降は、ほぼ横ばいに推移し、平成19年には再び過去最低であった平成元年と同じ値となった（図8）。

平均初婚年齢は夫が29.5歳、妻が27.8歳である（表6）。

図8 婚姻率の年次推移

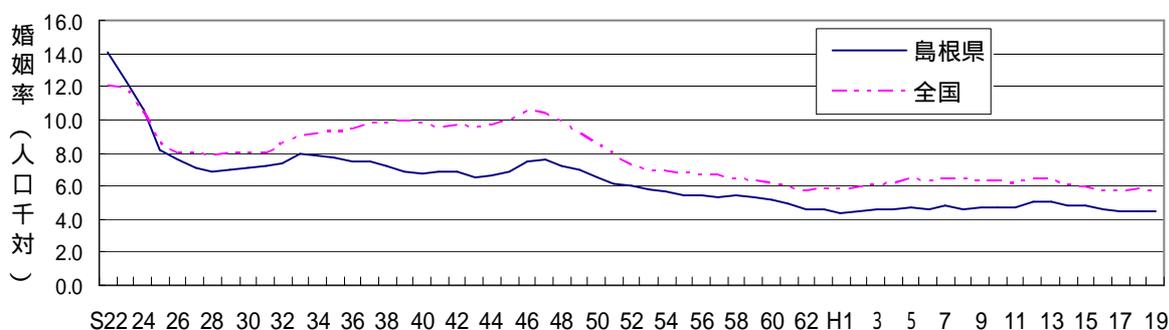


表6 平均初婚年齢の年次推移

	夫		妻	
	島根県	全国	島根県	全国
昭和 40	27.3	27.2	24.5	24.5
45	26.8	26.9	24.1	24.2
50	26.8	27.0	24.5	24.7
55	27.6	27.8	25.0	25.2
60	28.1	28.2	25.3	25.5
平成 2	28.4	28.4	25.7	25.9
3	28.4	28.4	25.8	25.9
4	28.4	28.4	25.7	26.0
5	28.4	28.4	25.9	26.1
6	28.3	28.4	25.8	26.2
7	28.4	28.5	25.9	26.3
8	27.3	28.5	26.1	26.6
9	28.3	28.5	25.2	26.4
10	28.4	28.6	26.4	26.7
11	28.3	28.7	26.3	26.8
12	28.3	28.8	26.6	27.0
13	28.4	29.0	26.6	27.2
14	28.7	29.1	26.9	27.4
15	28.8	29.4	27.0	27.6
16	29.0	29.6	27.2	27.8
17	29.1	29.8	27.4	28.0
18	29.5	30.0	27.5	28.2
19	29.5	30.1	27.8	28.3

5 離婚

平成 19 年の離婚件数は 1,119 件で前年の 1,199 組から 80 組減少した。離婚率（人口千対）は 1.54 で前年の 1.64 を 0.1 下回った。

離婚率の年次推移をみると、昭和 42 年までは低下傾向にあったが、その後は増減を繰り返しつつ上昇し、平成 15 年には過去最高の 1.71 を記録した。その後平成 16 年から 2 年連続で減少し、平成 18 年に 3 年ぶりに増加したが、平成 19 年には再び減少している。（図 9）

図 9 離婚率の年次推移

